

発行所株式会社空調タイムス社
本社 (〒105-0013)
東京都港区浜松町1-23-2
(山下ビル)
電話代表番号 東京3433局6501
FAX:東京 3433-6505
関西支社 (〒530-0015)
大阪市北区中崎西1-4-22(梅田東ビル)
電話代表番号 大阪6312局6061
URL <http://ac-times.com>

流浸工業

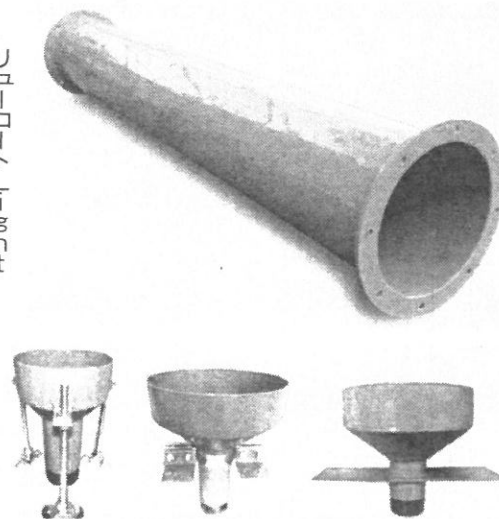
前12月期 大幅増で着地

コーティング鋼管、続伸

流動浸漬法によるコーティング鋼管のバイオニア、流浸工業(社長久保幸廣氏、本社・大阪府堺市美原区大保225)の前12月期(2017年1月〜12月)業績は、前年同期と比べて大幅増で

「東日本地域で受注の盛り上がりが見られる」とし、今後、西日本地域でも引き続き積極的な提案活動に努め、需要深耕を図る方針だ。

リューコートホッパー



リューコートLight

型案件を中心にも受注傾向で、硫化水素による腐食対策に大きな効果を発揮する臭突管のスペックイン実績をはじめ、コーティング鋼管全般に多忙(同)な状況が続いている。昨年8月の第49回管工機材・設備総合展(東京ビッグサイト)で披露した「リューコートホッパー」も市場投入後、大きな反響を呼んでおり、

「東日本地域で受注の盛り上がりが見られる」とし、今後、西日本地域でも引き続き積極的な提案活動に努め、需要深耕を図る方針だ。

流浸工業が国内でいち早く技術導入した流動浸漬法は、流動浸漬用パウダーを入れた槽の下部に多孔質の隔壁を設け、ここに圧力をかけた空気を注入、圧力で隔壁上部の粉体を均一に浮かす。この流動層に加熱した基材を浸漬することで、ピンホールのない均一な塗膜(膜厚200〜500μm)を形成する技術。ナイロン11、塩ビ、EVOH、ポリエチレンなどの樹脂を流動浸漬法により鋼管の内外面にコーティングする「リューコート」は、同工法を用いて1.6mm厚のスパイラル鋼管に塩ビコーティングを施す「リューコートLight」(ライト)、1.6mm厚のダクトに塩ビコーティングを施す「リューコートダクト」(リューコートダクト)とリューコートダクトの名称を「リューコートLight」に統一するなどを手がける。

大型施設や再開発関連案件での採用事例が多いリューコートLightは、板厚6mmの薄型フランジの使用により大幅な軽量化を実現しており、

内外面PVC樹脂コーティングスパイラル鋼管

リューコート®Light



リューコート鋼管の更なる可能性を求めて開発しました。腐蝕に強く、耐候性にも優れています。臭突管等の配管腐蝕対策に最適です。

◆リューコートLightは厚さ1.6mmのスパイラル鋼管と板厚6mmの薄型フランジを使用しています。非常に軽量で、現場の施工スピードアップが可能です。

流浸工業株式会社
<http://www.ryushin.jp/>
本社・工場 〒587-0001 大阪府堺市美原区大保225番
TEL:072-362-2331(代) FAX:072-362-3652

ドレンホッパーの腐蝕対策に!!

リューコート®ホッパー



内外面を塩ビ樹脂でコーティング

赤錆だ!!
絶えず水が滴り落ちてホッパーは錆び臭い錆びても交換は難しい...

そこで!

塩ビ樹脂被膜200μ以上

特長① 全面塩ビ樹脂コーティングされているため、耐蝕性に優れる。
特長② 高いコストパフォーマンス
特長③ 特殊形状も製作可能。パイプ長の変更やプレート溶接なども対応可能です。

関東事業部・工場 〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原字下林 673-20
TEL:048-532-3731(代) FAX:048-532-7000
奈良工場 〒632-0245 奈良県奈良市蘭生町 734-1
TEL:0743-82-0684(代) FAX:0743-82-1865